

職員による自己評価

A環境面

- ・利用定員と活動スペース・設備が適切な場合もあるがそうでないときもある
- ・安全対策は守られている
- ・事業所内はおおむね衛生的だがそうでないこともある

B児童への支援内容

- ・常時見守りが必要な児童への対応、配慮がおおよそなされているが分からないという意見もある
- ・児童に応じたプログラムをチームで立案できないときがある

C関係機関との連携

- ・第三者による外部評価・スーパーバイズは満足に行われていない
- ・自事業所より以前から利用している機関と連携が取れていない

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者からの意向など把握し、活動や業務につなげている
- ・家庭での対応方法について助言を行っているが分からないという意見もある

E非常対応

- ・個人情報の取り扱いは守られている
- ・非常事態についてマニュアルはあるが周知できていない

保護者による評価

A環境面

- ・活動のスペースは取れている
- ・スロープや手すりなど事業所内の設備についての周知が足りない
- ・衛生的な環境だと思えるが分からないという意見もある

B児童への支援内容

- ・おおよそ適切だが分からないという意見もある
- ・子どもと保護者のニーズが共有化され、活動プログラムにも満足している

C事業所からの情報発信

- ・障がいのない子供と活動する機会が少ない
- ・保護者に対しての面談や助言に満足している
- ・他の保護者とつながる機会に乏しい

D非常対応

- ・苦情対応におおむね満足している
- ・非常事態に備えて説明や避難などを活動に取り入れている

事業所内での分析

【共通点】

- ・保護者と児童のニーズや意向は職員としっかり共有し、共通認識が出来ている。
- ・他事業所や地域とのかかわりが薄い。
- ・保護者に対して発信が少ないのもあり、伝わっていない部分が多くあるという実感。

【相違点】

- ・設備について保護者と職員で認識しているものとしていないものがある。
- ・非常事態の対応について保護者は説明や活動に満足しているが、職員は不安な意見もある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

支援内容については良い評価をいただいている。
児童も事業所での活動が楽しく、安心して過ごすことが出来ている。
職員の支援への姿勢が保護者と児童に伝わっていると感じる。
生活の一部として居場所のように感じていただいている。

事業所の改善点

事業所内の設備や環境の衛生面についての周知不足があるため、ホームページやSNSを用いて情報を発信する必要がある。
他事業所や地域とのつながりを増やすためイベントが開催されていれば、積極的に参加できるように調整していく。

事業所の改善への取り組み

活動での利用者の状態に応じた内容の設定、スタッフの配置の見直し。
発信の手段や事業所で当たり前になっている事の発信を増やす。
他事業所や地域との関わりが出来る活動やイベントに参加できないか能動的な動きをする。
スタッフ間の非常事態下での適切な行動をとれるように話し合う場を設ける。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者と児童の両方から日々の支援に満足していただけていることが分かりやりがいを感じている。
保護者に伝えきれていない事業所内の環境や取り組みについて積極的に情報の発信を行っていききたい。
卒業される方も多い中たくさんのお声をいただくことが出来た。
保護者同士のつながりを求めているお声が多く、イベントを企画して交流できるようにしていきたい。